

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課	■担当係	政策マーケティング係
■評価事業名称	北上市近未来政策研究所に関する事務		
■事業開始年度	平成29年度		
■評価事業コード	010100 - 405	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり	
	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築	
	■施策	01 効果的かつ効率的な行政経営の推進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	行政ニーズを的確に把握し精度の高い政策を生み出すため、庁内のシンクタンク機能の強化として、北上市近未来政策研究所を設置・運営するもの。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	北上市近未来政策研究所に関する事務	市民等	○セミナー開催 1回○アドバイザーとの打合せ 12回(月1回程度)○その他研修・視察等 6回	○地域創生セッションの開催○山形市、郡山市での事例発表○アドバイザーとの打合せ 随時○視察等 3回(東京2回、郡山1回)
02	調査研究事業	市民等	○政策研究 2件○調査報告書 2件○政策提言 2件	○政策研究 2件○政策提言 研修・研究報告会にて進捗状況を報告

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費			158	1,734	
人件費			8,547	7,224	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			8,705	8,958	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	研究所の設置			完了		
02	調査研究実施数			1		

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

03	調査研究のうち事業化に結び付いた数		0		
----	-------------------	--	---	--	--

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

アドバイザーの助言を踏まえ調査研究を進めた。また、新たな取組みとして関東学院大学牧瀬ゼミと共同で地域課題解決プログラムを立ち上げ、市長への政策提言に結び付けた。

### 問題点・課題等

○自治体シンクタンクとして、研究員の専門知識やノウハウが不足している。○調査研究の進捗管理がうまくできず、単年度に完了できず繰り越している。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

策アドバイザーの知見を得ながら調査研究を進めていく。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了